

1 開会

2 市長あいさつ(要旨)

- 学校へのエアコン設置工事はほぼ終わって、電気のLED化も進めている。トイレの洋式化も積極的に進めていきたい。
- 総合教育会議では、不登校の支援、部活動の地域移行など、非常に良い話ができていく。体育館のエアコン設置工事は全校終わった。
- 新田の給食室も完成して、親子方式ではあるが、自校方式で給食を食べられるようになった。給食費も無償化できた。
- プロのインストラクターが各学校を訪問して水泳を教えるという、非常に新鮮で良い施策ができた。
- 総合教育会議を通じて、教育を前進させるようなことを合意の上で進めることができていく。総合教育会議を大事にして、意見を出し合っていきたい。
- 教育大綱については、第3次太田市総合計画と整合性を取りながら前に進めて行きたい。

3 教育長あいさつ(要旨)

- 今回のテーマは教育大綱の制定である。
- 意見交換を活発にしていきたい。

4 協議事項

(1) 太田市教育大綱の制定について

— 事務局より概要説明 —

〈池田委員〉

太田で育った子どもたちに、ゆくゆくは太田は戻って来て、地元の産業を支えていただきたい。太田市みらい給付型奨学金について、市長の考えを聞かせていただきたい。

〈市長〉

太田へ帰って来るかどうかというのは、行政責任として、太田市が帰って来るに値するような太田市になっているかということでもあり、全てが子ども、保護者の責任ではない。太田市み

らい給付型奨学金という制度がある太田市の価値を子どもたちが感じてくれれば太田市へ戻って来るようにもなると思うので、強制はしない。この奨学金によって、経済的に結婚しにくいとか、そういう環境から脱皮して、太田は良いところだなと感じてくれると非常に良いと思う。

〈池田委員〉

60万円で50名だと年間3,000万円。4年間だと1億2,000万円かかる。全国でも少ない非常に素晴らしい制度。卒業したら、できればふるさと納税等で太田市に寄附していただけると良いと思うが、市長の考えはいかがか。

〈市長〉

良いと思う。強要はできないが、余裕ができたらいかがですかと言うことはできる。この奨学金の制度を始めるときに、最初に寄附をしてくれた人がいる。相続税を納めるくらいなら地域のために尽くしたいということで、奨学金のために寄附をしてくれた。太田市の子どもたちのために寄附をしてくれるような、良い循環ができると良いと思う。

〈佐藤委員〉

奨学金の返済が滞ってしまったりする人もいるので、給付型奨学金の設立には生徒も感謝していると思う。継続性について伺いたい。

〈市長〉

広報のコラムにも寄附をお願いする原稿を書きたい。

〈池田委員〉

総合計画では「みんなの笑顔がすぐそばにあるまちおおた」を目指しているが、教育でも「子どもたちの笑顔の実現」を目指している。給食費の無償化について、市長の考えをお聞かせいただきたい。

〈市長〉

みんなが同じサービスを受けるベーシックサービスということを考えている。バランスの良い食事を食べるというのは健康に良い。食育は義務教育の一環である。太田市だけでも文科省の上を行きたいという思いがあった。

〈池田委員〉

何年後かには、国で無償化すると思う。その時に、給食費に充てていた分の予算を教育費に充てていただけないか。

〈市長〉

児童生徒は減るので、全て教育費へ充てると一人に対するベネフィットが高くなり過ぎるのではないかと思う。できるだけレベルの高い教育価値というものを児童生徒に与えることは大事なので、そこに予算を使ってもらうことは良いことだと思う。

〈池田委員〉

非常に良い状況になっていて、今年の太田中学校の倍率も高くなっている。教育にお金をかけると良い人が集まって来て、太田市が発展すると思う。

〈市長〉

太田中学校も、学校の先生が付けた通知表を基に、無試験で合格させたらと良いと提案した。そういう極論を言うと、議論になっていく。

〈佐藤委員〉

大学で、AO入試で合格した子たちと共通テストで合格した子たちのその後のキャリアを追跡調査したところ、AOで合格した子たちの方が出世して高収入だった。面接をしてしっかり自分の意思を伝えることができる子の方が、社会的に成功する可能性が高い。面接等が重要。

〈市長〉

面接は重視している。

(2) その他

〈佐藤委員〉

教育環境の整備が大切だと感じている。小中学校へのエアコンの設置が非常に進んでいて、コロナの給付金に着目して体育館にエアコンを設置していただいた。その発想についてお聞かせいただきたい。

〈市長〉

国の基準だと気密性の高い体育館でないとエアコン設置に対する補助金が出ないが、気密性の高い体育館はほとんどない。気密性を考慮してエアコン設置するには、もう一つ体育館を建設するくらいのお金がかかる。市と業者で相談しながら工夫して設置した。太田が先陣を切って、太田発で全国に広がったと思う。みんな太田でスポーツをやってくれるようになった。

〈佐藤委員〉

太田市合併20周年記念事業の取り組み状況について事務局にお聞きしたい。

〈学校教育課長〉

市内の児童生徒全員にネオタのイラストが入ったクリアファイルを配布した。「ありがとう20年。太田まだまだ、のびざかり」の横断幕を学校敷地内の目に入りやすい場所に掲示している。太田中学校、市立太田高校、中学校の吹奏楽部の生徒、合わせて約630人が、3月9日の太田市合併20周年記念式典の第九合唱に参加する。太田中では合唱コンクールの全体合唱で第九の合唱を行い、小学校5年生対象の学校説明会で動画を流した。その時の動画を紹介したい。

〈池田委員〉

太田市の予算における教育費のパーセンテージだけは、現在の約13パーセントから下げないようにお願いしたい。

〈市長〉

それくらいにしたいと思う。

〈池田委員〉

教育について、どのようにしていけば良いと市長は考えているか。

〈市長〉

教育委員会で好きにやってくれれば良い。できれば枠から飛び出すようにしてほしい。子どもたちがリアクションしてくれるようなものにしてけると良い。抵抗することが大事。

〈教育長〉

抵抗して頑張っていきたいと思う。

教育大綱案は「承認」としたい。

5 閉会